

# あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り  
7月号 No. 665 令和5年7月3日  
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

## 体験学習を通して心を育む

校長 関谷 望

早いものでもう7月。1学期もあとわずかになりました。6月10日には4年ぶりの全校一斉での学校公開を行いました。コロナ禍での保護者の皆様のご来校の状況と通常教室のスペースのなさを考えると、「立錫の余地がないほどの状況になってしまうのでは…」と心配し、「3時間の授業のうちの1時間のご参観を」という呼びかけを行わせていただきました。結果としてひどい密になるほどの学級・時間はなく、スムーズに実施することができました。保護者の皆様が、状況をよくご理解いただいて、ご配慮くださったおかげです。ありがとうございました。

5月末から6月は、低学年では生活科の中央図書館体験や地域探検、中学年は交通安全教室（青梅市交通公園にて）や社会科・理科見学、高学年は田植え体験（青梅総合高校のご協力をいただき実施）や観劇体験（八王子JCOMホールにて、劇団四季）等々、校外学習を中心とした体験活動を多く実施できました。

6月21日には、劇団青い鳥ティアティカル・カンパニーをお迎えして、全校での観劇体験を行いました。これは、文化庁の「文化芸術による子供育成事業」を活用して実施しました。（全国から応募がある中、当選することができ、実現できました。昨年度のシエナ・ウインドオーケストラによるコンサートに引き続き、2年連続の当選で、金銭的負担なく芸術鑑賞教室を実施することができました。）

当日朝から大がかりな舞台セットや照明、音響などが準備され、子供たちは会場に入った瞬間から、普段の体育館とは全く違う雰囲気魅せられていました。演目は「アーサーと王様の剣」。ヨーロッパに古くから伝わる「アーサー王伝説」をモチーフにした作品です。子供達は、主人公がピンチの場面では声援を送ったり固唾を飲んだり、コミカルなシーンでは声をあげて笑ったりしながら、とても楽しんでいました。そして、主人公アーサーが困難な場面でも人を信じる心を失わずに頑張る姿に感動していました。

観劇をして給食を摂った後には、1～4年生、5～6年生の2部に分かれてワークショップも実施していただきました。子供達からの質問に答えていただいたり、劇のワンシーンに挑戦したりしながら、「劇の裏側」や「創作していく過程」などについてユーモアを交えながら教えていただきました。特に5～6年生には「夢・目標を持つ大切さ」や「稽古（練習）の大切さ」なども伝えていただきました。大変楽しく、有意義な体験学習となりました。

実際に体験したことを通じて感じたり考えたりしたことを、振り返ったり価値づけたりすると、体験活動が「やっただけ」にならず、子供たちの「心」を大きく成長させることにつながります。本校では、様々な体験的活動ができる学習や行事などの教育活動と、それらを通して「心の成長」を促すことを大切にしています。

学校公開などの子供たちの姿をご家庭でほめていただいたり、学校での体験学習の話聞いて「良い経験ができたね」と価値づけていただいたりすることも、子供たちの自己肯定感や向上心の伸長につながると思います。今後も学校とご家庭で力を合わせて、子供たちの豊かな心を育てていけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。